

本町の人口は23,035人  
世帯数は6,326世帯

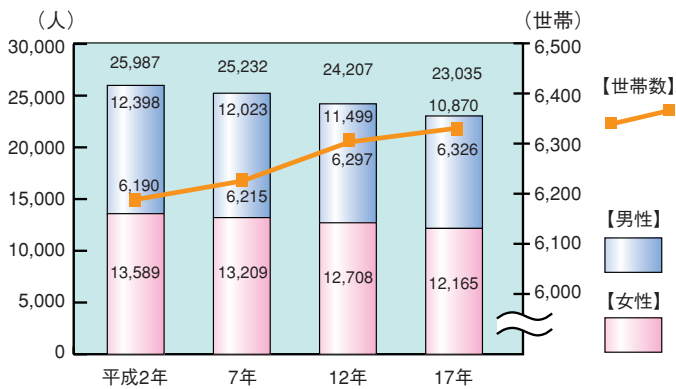
## 2005「国勢調査」速報値

国内に住んでいるすべての人を対象として昨年10月1日現在で調査が行われた「平成17年国勢調査」の速報値(概数)がこのほど、総務省統計局より発表されました。

それによると、本町の人口は23,035人で、前回調査が行われた平成12年に比べ1,172人の減少となりました。

一方、世帯数は6,326世帯で、前回の調査に比べ29世帯増加しています。

なお、これらの数値は速報値のため、この後正式に発表される確定値と異なる場合があります。



※平成17年以外の数値は、旧町村の合計値です。

道路の除排雪に係る経費  
8,506万5千円を追加

## 議会臨時会

平成18年第1回町議会臨時会が2月1日、千畑庁舎で開かれました。

今回の臨時会では、町有林の倒木による賠償事故の和解及び損害賠償の額を定める専決処分事項についての報告のほか、豪雪に伴う道路の除排雪に係る経費8,506万5千円を追加する平成17年度美郷町一般会計補正予算第9号について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

### 「可決された議案」

●平成17年度美郷町一般会計補正予算第9号について  
歳入歳出それぞれ8,506万5千円を追加し、補正後の予算総額を129億4,041万5千円としました。

補正の内容は、除排雪に係る経費として道路維持費8,506万5千円の増額で、これにより今年度の道路の除排雪に係る経費は総額で3億6,365万6千円となりました。



雪害にご注意ください

## パイプハウスの倒壊・なだれ

今冬の大雪により、パイプハウス等も雪に埋もれている状態ですが、最近の雨により雪がだいぶ締まってきました。そのため、融雪時にパイプが引っ張られ変形する被害が予想されます。十分ご確認のうえ、パイプハウスの倒壊対策掘り起こし等を万全にしてください。

また、町内の平均積雪量は2月24日現在、109・3cmとなっております。降雨の後や気温が上昇した時には、なだれが発生しやすくなります。積雪の多い急傾斜地が自宅の付近にある、またはそうした箇所を通行する場合などは、ご注意ください。



あなたの「声、  
を町長に直接  
伝えませんか

## 3月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
3月28日(火)	午後5時～ 午後6時30分	役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)
3月29日(水)		役場六郷庁舎2階 町長室
3月30日(木)		役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民の皆さんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

個人でも団体でも、どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。

問  
い  
合  
わ  
せ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎0187-84-4900(内線1226)

町長が週1日  
役場千畑庁舎  
と仙南庁舎で  
執務

## 移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

## 風

美郷町長 松田 知己



### 「早め早めの対応」

除雪作業から解放される三月に入ります。身も心も軽やかになります。が、しかし気はまだ抜かれませんが、気の緩みに風邪はすばやく入り込みます。もしも、罹<sup>かか</sup>ったなと思つたら、「早め早めの対応」(どっかで聞いたことあります?)に心掛けましょう。

さて、早め早めの対応が功を奏することは、風邪引きだけではありません。自分の経験上、行政制度の変更への対応も、早ければ早いほど確実に細かい所まで目が届き、円滑な移行が可能となるようです。もちろん、その中には農政分野も含まれます。

農家の皆さんは既にご存知のとおり、平成十九年度から農政の大転換と言われる品目横断的経営安定対策が展開されます。この対策のポイントの一つは、国の助成金を受けるこ

とができる農家と受けられない農家のはつきり分けられるということですが、受ける側に回るには、その要件を備えるようにしなければなりません。

受ける側には、担い手農業者あるいは組織として、一定の面積規模が求められます。原則として個人の場合は四ヘクタール、組織の場合は二十ヘクタールです。受ける側に回りたいものの面積規模が小さい方は、集落等で営農組織等を立ち上げることが必要となります。

こうした組織の立ち上げには、やはり早めの対応が肝要です。関係者の意思確認や意思統一、そして事務調整に時間が必要だからです。

町としては、この度の対策内容の説明など、集落等からの求めに応じて迅速に対応するよう、先般、関係機関と「集落営農化等支援チーム」を設置しました。早め早めの対応を旨に役場の農政課等にご連絡を下さいます。チームが参上いたします。そして地域の農業振興の観点も踏まえ、どうか助成金を受ける側になつていただきたいと思います。

いずれ、対策の核心は農業経営の体力強化です。体力づくりは何と言つても「やる気」が第一ですので、気持ちも新たに皆さんでがんばっていきましよう。私たちががんばります。

写  
真

2月15日に行われた「竹うち」で、警備にあたる消防団員を激励する松田町長